

# 広報広聴委員会行政視察報告書

令和5年11月30日

つくば市議会議長 五 頭 泰 誠 様

広報広聴委員長 小 村 政 文  
(公 印 省 略)

本委員会は、下記のとおり行政視察を実施したので、報告します。

## 記

### 1 視察期間

令和5年11月8日（水）から令和5年11月9日（木）まで

### 2 視察先及び視察事項

#### (1) 栃木県足利市

議会だよりについて

#### (2) 栃木県高根沢町

議会報告会（カフェ・ド・ギカイ）について

議会だよりについて

### 3 視察目的

本委員会所管に係る上記事項について調査研究し、本市議会の広報広聴の発展に寄与する。

### 4 参加者 計9名（委員7名、議会局（随行）2名）

委 員 長 小村 政文

副 委 員 長 川久保 皆実

委 員 川村 直子、山中 真弓、小森谷 さやか、

神谷 大蔵、小久保 貴史

議 会 局 藤井 雄平、草牧 優希

## 5 研修内容

### (1) 栃木県足利市

【11月8日（水）説明：足利市議会 広報広聴常任委員会 末吉副委員長】  
「議会だよりについて」

足利市議会では、情報を発信する広報委員会と、広聴の役割を果たす議会報告会実行委員会が、平成30年3月に合併して広報広聴委員会ができた。令和元年12月には栃木県内で初めて常任委員会へと格上げされ、現在は広報広聴活動の強化に努めている。

議会だよりのリニューアルにあたり、全議員でワークショップ形式での勉強会を実施し、改善点等を協議した。文字数が多いという共通の見解に対し、文字数の調整やQRコードの利用により対応するほか、大きな3つの改善点として、特集記事の創設や一般質問の掲載方法の変更、市内高校生を紹介する連載の新設がある。特集記事では、余白や文字の大きさを注意しながら、議会の仕組みや定例会の活動など、随時テーマを決めて掲載している。一般質問の項目については、一言フォーラムを新設し、質問における議員の意図が分かるようにした。市内高校生の紹介は、家族や友達が見てくれるなど、市民が自主的に手に取れるような取組にもなっている。また、議会の広報活動を定点観測するために、同時期に同じ質問内容で、議会だよりを含めた広報活動のアンケートをとっている。現状、企画は委員で考え、レイアウトは事務局で作成し、最後の微調整を業者が行い、費用削減のためにも市広報紙と一括発注を行っている。

議会だより以外にも様々な広報活動を行っている。中学校の公民の授業時間に合わせ出張議会を実施し、現在は三人体制で意見交換を主に行っている。マイチャレンジ事業では、地元の職業体験の一つとして、議員と一緒に地域課題の発見、執行部との調整、質問作成及び議場での質問体験を行っている。また、SNSにより会議の開催予定や議会のイベントといった情報も発信している。



(2) 栃木県高根沢町

【11月9日（木）説明：高根沢町議会 広報常任委員会 森委員長  
広聴特別委員会 横須賀委員長】

「議会報告会（カフェ・ド・ギカイ）について」

「議会だよりについて」

高根沢町議会では、議会報告会を広聴特別委員会が、議会だよりを広報常任委員会が担当し、広聴と広報で担当を分けることで役割に集中することができている。その上で、議会だよりには議会報告会の内容と関連する写真を表紙に掲載し、議会報告会では報告内容として議会だよりを活用することで、年4回、広聴と広報を連動させる仕組みができている。

高根沢町議会でも、議会報告会の参加者が固定されてきた点が問題となり、希望のあった地区での開催などを経て、現在の団体募集形式へと変更した。議会だよりを配ることで議会の報告とし、広聴に特化した内容で実施している。参加団体の人数に合わせて参加議員も調整しており、議員自身で記録をとり、事務局でまとめて公開する流れとなっている。テーマを定めておくことで、議会報告会実施前に議員も情報収集しておくことができ、意見交換も有意義なものとなる。定例会がない期間に議会報告会を開催し、数多く要望が出る中から、本当に提言が必要なものを吟味し委員会で審議し全員協議会で諮った上で、次の定例会最終日に提言を出している。

議会だよりについては、掲載内容の作成や画像の収集も全て議員で行い、その内容を決められた枠組みの中に印刷業者が当てはめる流れとなっている。原稿作成期間に限りがあるため、掲載内容に制限はあるが、議会報告会の内容だけでなく、傍聴者に「町民のひと言」欄への掲載を依頼するなど、町民を巻き込むことで興味を持たせるような内容としている。また、新聞折込や公共施設への配置だけでなく、病院やコンビニにも配置を依頼し、より町民の手に行き渡るような工夫をしている。



## 【行政視察所感欄】

広報広聴委員会の行政視察では、栃木県足利市と高根沢町の取り組みについて学んできました。

足利市では、市議会だよりのリニューアルに当たり、読みやすくするための文字数の調整や、要点を分かりやすくするひと言フォーラムの掲載と余白を活かした紙面構成を、議員勉強会や市民へのアンケートを通してより読みやすいものになるようシステム化して運営されていました。また、デザインの見やすさに加え、市民を掲載することで議会を身近に感じられる仕掛けを組み込んでいるなど、積極的に市民を巻き込んでいく編集の仕方にもとても刺激を受けました。

こうした委員会や事務局のメンバーに依存しない形で継続的に見やすさを意識できる紙面づくりの在り方は、当市にとっても非常に参考になりました。

高根沢町では、市議会だよりの編集を行う広報常任委員会と、カフェ・ド・ギカイと題して市民との意見交換会を行う広聴特別委員会で連携し、実際に市民との意見交換を通して市に提言を提出するまでの一連を、議会だよりの特集として掲載されており、まさに市民の声が市に伝わり、そのことが市民に広報されるサイクルが圧倒的なスピード感をもって実施されていました。

つくば市としても令和5年10月21日に初めて議会カフェを実施し、更なる広聴体制の拡充に向けて、非常に参考になるお話を伺いました。

今回の行政視察では、これからの広報広聴委員会の活動に大きく資する知見や情熱を得ることができました。より身近な議会を目指し取り組んでまいります。

以上、広報広聴委員会行政視察の報告と致します。

広報広聴委員長 小村 政文